

織田京子（鴻巣市議4期目）

県議選出馬

自民の2次公認を獲得

本誌にも度々登場した鴻巣市議、4期目の織田京子が4月の統一地方選（県議選）に、自民党の2次公認を獲得して出馬することになった。女性の県議として自民党現職では、柿沼トミ子議員一人のため、女性の当選者が大いに期待されている。



区割り変更で混戦模様

南16区（定数2・鴻巣市）。今回より旧川里町が鴻巣市と同じ選挙区に入ったため、定数も1から2に増えた。

色々な駆け引きが続き、現時点で4人が立候補する見込みで、か

織田京子市議は現在4期目で、

地元では知名度も高く、女性議員としてかなりの実績を残してきた。

県議選に立候補して、女性議員の立場で思いっ切り活躍してみたいと語った。県議会でも自民党所属が多い中で、女性議員は現職一人しかおらず、県政の将来を考えれば、女性議員の登場が待たれるところ。

ましてや、自民党としても、女性のパワーがどうしても必要で『地方創生』田京子市議は市議を4期経験しているだけに、当選後には大いに期待がかかる。

なぜ、県議会議員の選挙にでるのか？

自民党が県議会議員の公募、それに応募し、第1次審査と2次審査に合格し、自民党の公認を得た。

○教育問題や医療の問題

○市議で出来ることには限界がある

○現場の声を届けられるのは

経験者である女性

○鴻巣市でしている素晴らしい事業を県に持っていく

○子を育て、親の介護をし、「本当に必要な事」がわかるのは女性

織田京子氏プロフィール

〈略歴〉

平成14年 市議初当選（1期目）

平成18年 文京福祉常任委員会委員長（2期目）

平成19年 市議会副議長（3期目）

平成21年 議会運営委員会委員長

平成23年4月 市議選（4期目）当選

平成23年6月 「子ども達を放射能汚染から守る会」発足

・自民党鴻巣支部女性部長・親子アドバイザー資格

・日本舞踊、寿流師範

・「座右の銘…継続は力なり」

平成21年 10年以上無事故無違反表彰

” 県消防協会表彰

24年 地方自治功労賞受賞

26年 全国議長会10年表彰